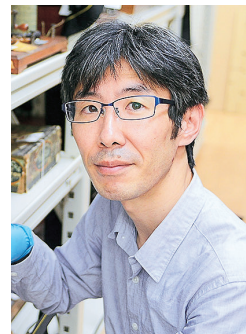


受領No.1560

## 研究者資料アーカイブズの目録標準化に向けた 記述フォーマットの構築：物理学者資料を中心に

代表研究者 有賀 暢迪 一橋大学大学院 言語社会研究科 准教授  
共同研究者 森本 祥子 東京大学 文書館 准教授  
高岩 義信 高エネルギー加速器研究機構 広報室  
史料室協力研究員



### Development of a Standard Description Format for Cataloging Archival Materials of Researchers: Focusing on Physicists' Materials

Representative Nobumichi ARIGA, Graduate School of Language and Society, Hitotsubashi University, Associate Professor  
Collaborator Sachiko MORIMOTO, The University of Tokyo Archives, Associate Professor  
Yoshinobu TAKAIWA, High Energy Accelerator Research Organization, Public Relations Department, Archives Office, Associate Researcher

#### 研究概要

科学技術の歴史研究にとって重要な一次資料である研究者資料（研究者個人に由来する資料）は、各地の文書館・図書館・博物館や研究所内の「史料室」「記念室」などで保管されている。しかし、資料目録が未整備であったり独自のフォーマットに基づいていたりすることも少なくないため、どこにどのような資料が保管されているのかを知ることが容易でない。この種の資料の所在と概要の情報を集約することが、活用のための第一歩と考えられる。

本研究では、個々の資料（アイテム）でなく資料群（ファンド）に照準を合わせ、アーカイブズの国際標準となっている目録規則に即して、研究者資料を概括的に記述する標準的フォーマットを構築する。とりわけ、国内外での取り組みが比較的進んでいる物理学者の資料を中心として検討を進める。

具体的な手順としては、代表者らが熟知する少数の資料群を事例として仮フォーマットを作り、これに基づいて他の資料群をうまく記述できるかどうかを検証していく。この過程では、フォーマットを定めると同時に概要目録のデータそのものが生成されるため、完成したデータはインターネットを通じて公開する。また成果の紹介を通じて、研究者資料アーカイブズへの関心を高める。